



2022年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月3日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東
 コード番号 2910 URL <https://www.rockfield.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）古塚 孝志
 問合せ先責任者 （役職名）執行役員管理本部本部長 （氏名）新部 雅彦 TEL 078-435-2800
 四半期報告書提出予定日 2021年9月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年4月期第1四半期の連結業績（2021年5月1日～2021年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2022年4月期第1四半期	11,702	24.9	729	—	746	—	502	—
2021年4月期第1四半期	9,371	△25.3	△311	—	△192	—	△139	—

（注）包括利益 2022年4月期第1四半期 499百万円（－％） 2021年4月期第1四半期 △153百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第1四半期	18.88	—
2021年4月期第1四半期	△5.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2022年4月期第1四半期	35,354	28,395	80.3	1,068.18
2021年4月期	35,318	28,187	79.8	1,060.38

（参考）自己資本 2022年4月期第1四半期 28,395百万円 2021年4月期28,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	9.00	—	11.00	20.00
2022年4月期	—				
2022年4月期（予想）		9.00	—	11.00	20.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年4月期の連結業績予想（2021年5月1日～2022年4月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	22,583	9.1	854	359.6	875	161.3	582	123.9	21.90
通期	45,667	4.4	1,463	32.1	1,495	17.6	1,000	△14.1	37.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年4月期1Q	26,788,748株	2021年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	2022年4月期1Q	205,886株	2021年4月期	205,886株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年4月期1Q	26,582,862株	2021年4月期1Q	26,575,578株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年5月1日～2021年7月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種率が徐々に高まるなか、各種政策の効果や海外経済の回復に伴う輸出増加などを背景に持ち直しの動きが期待されるものの、国内の感染者数が再び増加に転じ、緊急事態宣言の発出が繰り返されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

中食・惣菜業界におきましては、デジタルを活用したサービスの多様化により、テイクアウトやフードデリバリー、オンラインショップ等の需要が定着してきており、食品スーパーやコンビニエンスストアといった従来からの競合に加え、外食企業や飲食店など業態の垣根を越えた競争がますます激化しております。

このような状況の中、当社グループは「The Mirai Salad Company」として、健康で豊かな食卓提案を通してお客様の豊かなライフスタイルの創造に貢献するために、より高品質で季節感あふれるサラダや、これまで培ってきた調理技術を活かした料理・冷凍食品・デリキットの進化と拡充に取り組んでまいりました。併せて、抜本的なコスト構造の見直しによる経営体質の強化に継続して取り組むとともに、当期の重点的な取り組みのひとつであるデジタル活用の推進として、会員サイト「ロック・フィールドメンバーズ」では、店頭受け取り商品のWEB予約の品揃え強化やオンラインショップでの商品の拡充や新たな提案など、デジタルを活用したサービス強化や利便性の向上に取り組みました。また、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック使用量の削減、店舗におけるフードロス削減、ファクトリーにおける再生可能エネルギーの活用など地球環境に配慮した取り組みを推進しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は11,702百万円（前年同期比24.9%増）、営業利益は729百万円（前年同期は営業損失311百万円）、経常利益は746百万円（前年同期は経常損失192百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は502百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円）となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		2021年4月期 第1四半期（連結）		2022年4月期 第1四半期（連結）		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
R F 1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	3,268	34.9	4,127	35.3	126.3
	フライ	1,234	13.2	1,373	11.7	111.2
	その他そうざい	1,378	14.7	1,810	15.5	131.3
	小計	5,881	62.8	7,311	62.5	124.3
グリーン・グルメ		1,772	18.9	2,250	19.2	127.0
いとはん		682	7.3	816	7.0	119.5
神戸コロッケ		535	5.7	617	5.3	115.2
融合		182	1.9	250	2.1	137.2
ベジテリア		155	1.7	200	1.7	129.1
その他		159	1.7	255	2.2	160.0
合計		9,371	100.0	11,702	100.0	124.9

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて35百万円増加し、35,354百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少474百万円や売掛金の増加1,025百万円等による流動資産の増加251百万円及び、固定資産の減少215百万円によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて171百万円減少し、6,958百万円となりました。これは主に、賞与引当金の減少349百万円や未払法人税等の減少322百万円等による流動負債の減少20百万円及び、長期借入金の減少135百万円等による固定負債の減少151百万円によるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて207百万円増加し、28,395百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加502百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少292百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は80.3%、1株当たり純資産額は1,068円18銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月9日に公表いたしました2022年4月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年9月3日)に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,418	12,944
売掛金	3,506	4,531
製品	58	67
仕掛品	108	99
原材料及び貯蔵品	571	474
その他	443	242
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	18,103	18,354
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,959	9,925
土地	2,948	2,948
その他（純額）	2,549	2,529
有形固定資産合計	15,457	15,403
無形固定資産		
その他	168	161
無形固定資産合計	168	161
投資その他の資産		
その他	1,612	1,457
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	1,589	1,434
固定資産合計	17,214	16,999
資産合計	35,318	35,354
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,091	1,202
1年内返済予定の長期借入金	540	540
未払法人税等	479	157
賞与引当金	635	286
その他	2,405	2,946
流動負債合計	5,152	5,132
固定負債		
長期借入金	1,580	1,445
その他	397	381
固定負債合計	1,977	1,826
負債合計	7,130	6,958

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,874	5,874
利益剰余金	16,840	17,049
自己株式	△190	△190
株主資本合計	28,068	28,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62	58
為替換算調整勘定	56	58
その他の包括利益累計額合計	119	117
純資産合計	28,187	28,395
負債純資産合計	35,318	35,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)
売上高	9,371	11,702
売上原価	4,031	4,808
売上総利益	5,339	6,894
販売費及び一般管理費	5,650	6,164
営業利益又は営業損失(△)	△311	729
営業外収益		
受取配当金	4	4
保険配当金	14	11
雇用調整助成金	96	—
その他	7	5
営業外収益合計	122	21
営業外費用		
支払利息	2	2
解約違約金	—	1
その他	0	1
営業外費用合計	3	4
経常利益又は経常損失(△)	△192	746
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△192	746
法人税等	△52	243
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△139	502
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	502

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△139	502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△4
為替換算調整勘定	△0	1
その他の包括利益合計	△14	△2
四半期包括利益	△153	499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△153	499
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、従来販売費及び一般管理費として計上しておりました他社ポイント負担金については、売上高から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

また、当第1四半期連結累計期間の売上高、販売費及び一般管理費についてはそれぞれ3百万円減少しておりますが、営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書「注記事項(重要な会計上の見積り)」に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りに用いた仮定について重要な変更はありません。